

令和4年度 木古内町当初予算の概要

一般会計は42億7,659万円

当初予算は通常予算編成

令和4年度当初予算編成では、子育て関連事業や移住・定住対策事業など、各分野で新たな事業を盛り込みました。

予算の内訳は、一般会計が42億7,659万円(前年比+6.4%)で2億5,868万円の増額、各事業会計・特別会計の合計は46億5,858万円(前年比△2.0%)で9,743万円の減額となりました。

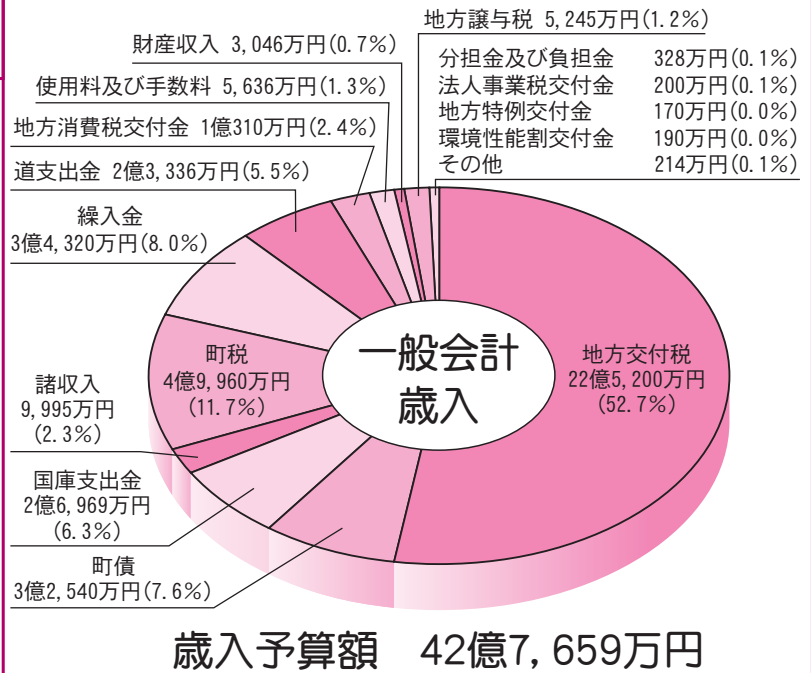
歳入

新規事業などにまわす くり応援基金を活用

令和4年度歳入予算は、地方譲与税や地方消費税交付金、地方交付税などは前年度の交付実績等を基に増収を見込み、産業会館設備改修事業や災害復旧事業の財源として備荒資金超過納付金を取り崩したことから、前年度より2億5,868万円の増額となりました。

基金繰入金の総額は、前年度から4,743万円増額の3億4,109万円となっていますが、このうち、ふるさと納税に係るまわすくり応援基金繰入金は前年度より3,139万円多い5,229万円、資金不足を補うための財政調整基金(貯金)の取り崩しは、前年度より2,534万円多い1億9,814万円となりました。

また、町債(町の借金)については、前年度より2,980万円少ない3億2,540万円となりました。



歳出

産業会館改修工事費、移住・ 定住対策費用を予算計上

令和4年度歳出予算は、前年度当初予算との比較では2億5,868万円の増額になりました。総務費は、移住・定住対策事業の増や、産業会館設備改修工事、町制施行80周年記念事業に係る費用などを計上し、前年度より2億1,342万円の増額となりました。

民生費は、緊急通報システムの更新費用や出生祝い品の贈呈事業費、特養いさりびの支援に係る高齢者介護サービス事業会計負担金を計上しており、前年度から4,804万円の増額となりました。

農林水産業費は、木古内地区農地整備事業補助金や薬師山・萩山小規模治山工事費、漁業チャレンジ応援補助金などを計上し、前年度から6,290万円の増額となりました。

教育費は、ICT教育支援や小学生向けのプログラミング講座の実施費用、小・中学校入学祝い品の贈呈事業費などを計上していますが、一方で中央公民館長寿命化工事の完了により、前年度から8,679万円の減額となりました。

